

公益財団法人 上伊那教育会 総研修会 『仰望の日』

期日：令和4年5月18日（水） 会場：上伊那教育会館講堂

浦山哲雄 上伊那教育会 会長挨拶

本年度、公益社団法人上伊那教育会会長を務めさせていただきます、伊那東小学校、浦山哲雄と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、令和4年度公益社団法人上伊那教育会総研修会『仰望の日』を開催しましたところ、信濃教育会長 武田育夫様のご臨席を賜り、1149名の会員の皆様と共にこの研修会を開催できますことを、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は、教育会事業を8月まで一切中止とせざるを得ませんでした。それ以降、令和3年度の上伊那教育会総研修会「仰望の日」を初めてオンラインで開催するなど、どうしたら実施できるかを考え、工夫しながらほとんどの事業を開催してまいりました。

この2年間でオンラインのよさを知る一方、オンラインを経験したからこそわかる、直に向き合い語り合うことのよさを改めて実感しました。オンラインでの開催となった新入会員歓迎研修会ではこんな声がありました。「同じ世代のみなさんや同じ新任の立場のみなさんと学校での様子や悩みなどを気軽に話せる場があるのはとても心強いと思います。このような機会が実現されることを願っています」

集まることでしか感じられないその場の熱気、空気感があります。顔を合わせるからこそ出てくる言葉があります。それを共有することによって、人のつながりが生まれてくると感じます。

教育会の事業、研修を通して、つながり合い、共に学び合うなかで、自己を見返し、新たな発見や確かな学びを感じ、参加してよかった、楽しかったという思いをもち、共に高め合っていきたい、そんなことを願っています。

以上のことから、本年度の上伊那教育会のテーマを

「共に集い 共に学び続ける ～学び合う楽しさを～」

として、1年間活動を行っていきたいと思います。

そのために、教育会の取組を多くの会員の皆さんに知っていただきたい、そんな願いももっております。本日の総研修会の会員発表では、上伊那教育会としてずっと大事にしてきた三大研修のうちの哲学研修と、教師としての専門性を高め続けている郷土研究部の発表をお願いしております。今後、雑誌「上伊那教育」等でも教育会の取組の様子をお伝えしたいと考えております。

参加者の皆さんの声や、学びを聞いていただくことにより、教育会をより身近に感じていただき、「共に集い 共に学び続ける」仲間として、多くの会員の皆さんとつながっていききたい、と考えています。子どもたちの成長のために、教育会に集い、自分自身を磨き続けていきましょう。

1年間、どうぞ、よろしくお願いいたします。



武田育夫 信濃教育会長 来賓祝辞

ただいま紹介いただきました信濃教育会の武田育夫と申します。本日は上伊那教育会総研修会『仰望の日』の開催、誠にありがとうございます。また、日頃より信濃教育会の諸事業にご支援・ご協力いただいていること、この場をお借りして感謝申し上げます。

先日若い先生方と語り合う機会があり、その中で「教師としてやりがいを感じる時はどんな時か」ということが話題になりました。「子どもの成長に立ち合えたとき」「子どもから『ありがとう』と言われたとき」など多くの先生が子どもと共に暮らす中での出来事をあげていました。

私たちの多くは、子どもが好きで、子どもと共に暮らしたいと教師になりました。それは、「子どもたちに力をつけてあげたい」「子どもたちの成長を支えたい」という思いでもあります。子どもに力をつけたいと願うことは、教師自身が力量を向上させたいと願うことと同じです。



では、教師はどのようにして力をつけるのでしょうか？

与えられる研修ややらされる研修では力がつかないことは、子どもたちが主体的に学ぶ授業を追求している長野県の先生たちにはよくわかっていることだと思います。主体的にそして自立的に学ぶことにより、教師は力をつけていきます。そしてそれは、自ら学ぼうとする雰囲気や自ら学ぶ文化の中で実現していきます。各学校において多くの先生が教育会に入会していることこそが、その雰囲気や文化をつくっているのです。なぜなら、教育会に入会すること、そのこと自体が、自ら学ぼうとする意思表示であるからです。

教育会は長野県教職員の財産であり、貴重な資源です。この資源を有効に活用することが、長野県の教育力を高めていくことになり、教育会を有効に活用する主体者は会員一人ひとりであると思います。

さて、今年2月にロシアが侵攻したウクライナの悲惨な状況を、テレビなどの映像を見るにつけ、多くの皆さんが心を痛めていることと思います。自分にできることはないのか、皆さんも様々考えたと思います。信濃教育会では様々検討する中で、会員の総意として人道支援金を送ろうという意見が多く出されました。信濃教育会会員一人ひとりの思いを届けられるよう現在準備をしているところです。

また、国内でも、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、生活が困窮し満足な食事をとることができない子どもさんが増えていると聞いております。信濃教育会は長野県社会福祉協議会が中心に行っているフードバンク活動に協力することとし、少しでも子どもたちに食を届けられるよう活動をはじめました。

信濃教育会は会員の皆さんの思いをいろいろな形で発信し、社会に貢献していこうと考えています。

これからも、信濃教育会は、上伊那教育会と手を携えて、子どもたちのため、そして豊かな社会を形成するために進んで参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

本日は、誠にありがとうございます。

会 員 発 表



郷土研究部専門委員会地質班
細田一成会員（赤穂南小）山本聡会員（美鷲小）
花村純平会員（高遠中）唐澤茂会員（伊那西小）



研修部哲学研修委員会
矢澤純子会員（伊那西小）

<会員感想>

- 上伊那に鍾乳洞があることを初めて知りました。今回、発表をお聞きしたことで、地質班のみなさんの努力や頑張りも知ることができて良かったです。
- 哲学は、今まで私にとって遠い存在でした。今回、初めて哲学研修の様子を知りました。まだまだ難解な学問だと思っていますが、私にとって哲学へのハードルが少し下がりました。
- 様々な面でご活躍されている先生方、本当に素晴らしいと思いますし、尊敬します。貴重な研究の発表をしていただきありがとうございました。おかげさまで、伊那の地の新しい発見や普段は考えることもない哲学の世界を知ることができました。
- 夏期講習（哲学）は、ちょっと敷居が高いと思っていたが、参加された先生方のコメントを聞き、子どもの見方を学ぶよい機会になることを知ることができて良かったです。地質班の発表は、あまり知識の無い分野の発表だったので、実際の地形や図を用いて説明してくださったのはわかりやすかったです。
- 哲学という敷居の高い学問をわかりやすい動画にまとめていただき、イメージよりも身近に感じることができました。どちらも短い発表時間だったのが残念でした。
- 哲学研究会についての発表がとてもすてきで、興味がわきました。また、わかりやすいスライド、内容に合わせた音楽、テンポの良い進め方で聴き手を惹きつけ、最後のインタビューでは時間をかけて聴き手に伝えるなど、プレゼンの仕方自体もとても勉強になりました。
- 普段知ることのないお話を聴くことができて、とても楽しかったです。せっかく上伊那にいたので、赴任している間にこの土地のことを知ることができて良かったです。



A I と脳がもたらす未来 ～人工知能とこれからの社会～

<会員感想>

- とても楽しく興味をもって池谷先生の話をお聞きすることができました。小学生の親ですが、今の子どもたちの 65%は現在無い職業に就く、というお話は驚きでした。子どもが大人になった時、今は無い新しい職業で A I と共存しているのでしょうか。
- お話ししてくださる池谷先生ご自身がとても楽しそうな姿が印象的でした。聞いている私もワクワクする内容にあっという間の 90 分間でした。とても興味深い内容ばかりでしたが、「記憶に留まる話し方や示し方」は、さっそく授業で取り入れてみます。池谷先生のお顔を直接見ながら講演を聞きたかったです。ありがとうございました。
- 新しい学びがいくつもありましたが、その中でも「記憶は未来の自分に贈るプレゼント」という言葉が印象に残りました。子どもたちに伝えていく言葉としても、とても素敵な言葉だと感じました。また、今ある夢を追わせるだけでなく、職種も変化していくことを伝え、幅広く考えさせていくことが大事だと感じました。
- A I が脳に取って代わろうとして活用されているわけではないということが理解できました。得意分野が違う A I と脳が協働することで、ヒトがよりよく生きていけるようにすることを目指している、というお話を聴き、学校でも子どもたちのよりよい学びのために ICT を活用していきたいと感じました。また、「夢を抱く」ことについては、職業を考えさせるのではなく、自分が何を好きでどんなことに活かしていきたいか、どういう風に生きていきたいかを考えていけるような言葉かけをすることで夢を持ってほしいと考えました。
- 飽きないお話でした。たくさんの情報を伝えていただいて、A I への考え方が大きく変わりました。偏見を持っていたんだなあと思います。目の錯覚から学ぶことも多かったです。最先端のお話を伺うことができて勉強になりました。
- とても興味深く聞くことができました。人の得意なこと、A I の得意なこと、協働していくことが大事とのお話は「なるほど」と思いました。今日のようなお話は、中学生（小学校高学年）でも、十分に聞き分けることができるのでは、と思います。これから生きる子どもたちにも伝えたいと思う内容でした。
- セーフティは保証できても、セキュリティは穴だらけというお話から、意外なところで道德教育の必要が説かれていて面白かったです。どんな進んだ未来技術も、使う人間の善意・悪意によって、社会を住みやすくも住みにくくもしてしまうというお話だったかと思いました。
- いつも著名な方を講師に呼んでいただき、お話を聴けるのはありがたいです。最新のそしてこの先の社会や生活等がどうなっていくのか、自分の想像をはるかに超えた内容でした。未来を生きる子どもたちのため、このような内容はとても有意義でした。
- 人工知能を使う側の人間の意識について、人工知能の進んだ未来の社会について、様々な思いをめぐらせることができました。人工知能と比較して、人間の脳の仕組みについても「おもしろさ」「人間の脳の不思議さ」を感じました。二つを比較しながらのお話にとっても興味がもてました。

原浩範 上伊那教育会副会長 閉会の言葉

公益社団法人上伊那教育会総研修会『仰望の日』が、オンライン配信という形をとりながら、皆さまのご協力を得て、開催できましたことに、心より感謝申し上げます。

会員発表では、郷土研究部専門委員会自然地質班の先生方より、鍾乳洞の実地踏査を行うなど地道に研究されてきた貴重な成果を発表していただきました。また、昨年度、研修部哲学研修委員会委員長として中心になって推進いただきました立場から、上伊那教育会で大切にしている哲学研修について発表していただきました。先生方の、教師として自らの専門性や資質を高めていこうと研究や研修に主体的に取り組まれているお姿は、まさに私たちが目指している「共に学び続ける教師」の具体的な姿そのものであると、感銘を受けました。ありがとうございました。



上伊那教育会合唱団による合唱発表は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、本年度も中止とさせていただきます。澄んだ歌声と美しいハーモニーをお聞きできる日が、一日も早く戻ってくることを願ってやみません。

そして、ただ今は、池谷裕二先生に、人工知能をめぐる最先端の研究成果を交えながら、脳と人工知能の共同作業によってもたらされるであろう未来についてご講演をいただきました。ありがとうございました。

午後には、3年ぶりに教科等教育研究会による研修会が、「仰望の日」と合わせて平日一日開催でおこなわれます。明日の子どもたちのために積極的に研修を深めていただければと思います。有意義な研修となりますようご期待申し上げます。上伊那教育会は、このような状況下ではありますが、できることを考え、様々な研修の場を用意してまいります。会員の皆様方に参加してよかった、共に語り学び合う楽しさを実感できたと言っていただけの研修になるよう、より一層工夫してまいります。子どもたちのために、自らを高めるために、本年度のテーマ「共に集い 共に学び続ける」、そんな気持ちを大切にしながら、自主的・主体的に研修に参加していただけると、大変うれしく、ありがたく思います。

最後になりましたが、信濃教育会会長 武田育夫様には、お忙しい中をお越しいただき、ご光彩を添えてくださいましたことに、心より御礼申し上げます。

本日ここに、共に学び合った、すべての皆様方のますますのご健勝・ご活躍を心よりご祈念申し上げ、令和4年度公益社団法人上伊那教育会総研修会「仰望の日」を閉じます。ありがとうございました。

<会員感想>

- 今年もオンライン開催「仰望の日」でしたが、その内容は充実していたように感じます。講演会大変興味深く、授業でも活用していきたい内容でした。中央の方、名のある方の講演を聞けることが、多くの会員の先生方にとって「仰望の日」最大の楽しみではないでしょうか。
- 忙しい毎日の中であって、「仰望の日」は、余裕を持った日程で、じっくり研修ができる一日であり続けてほしいと思います。その意味でも今回 ZOOM での開催は良かったです。移動時間の短縮により時間にゆとりがありました。有り難かったです。
- 今年は、午前開催に戻していただいたことで、午後の教科等教育研究会の時間が確保でき良かったと思います。やはり、同一日に行えると、参加しやすいです。

- まだまだコロナ不安、コロナ対応が続く中でしたので、オンライン開催は安心な方法であったと思います。でも、やっぱり「集まりたい」ですね。来年こそ！ですね。
- 年に一度会員が集まり、会員の発表を聴いたり講演を聴いたりして、同じ方向を見ながら研修をすることは貴重なことだと思います。今回は、コロナ対応でオンラインではありましたが、今後もこの機会を大切にしていきたいと感じています。
- ここ数年、オンラインでの講演会ですが、来年は参集して講演会を開催できればいいと思います。
- 本部の方々のご準備等大変かと思うのですが、オンライン開催のため、自校で研修ができるのは心にもゆとりがあって良いと思いました。
- なかなか全体が集まることができない中、工夫してオンラインで研修の機会を作っていただけたことに感謝しています。忙しい毎日だからこそ、時には研修にじっくりと浸る時間も大事ではないかと感じました。
- 発達障害の児童に処方される「向精神薬」と脳の仕組みについて専門的な立場から聞きたかったです。来年度は、増え続ける発達障害の児童に関しての講演が聴きたいです。
- 会員発表、講演会とても勉強になりました。授業日を一日研修日にして行うことはとても意味のあることだと思う。教科教育研究会に入っていない人も多いので、できるだけ入っていただいて午後もしっかり研修することが、ひいては子どもたちに還元されるし、たとえ直接子どもたちに還元されなくても自分たちの教養が身についていくと思います。

【司会：中谷弥哲会員】



【Zoom配信系の先生方】



【会館の様子】



2年連続のオンライン開催とはなりましたが、会員の皆様のご理解とご協力により、充実した「上伊那教育会総研修会『仰望の日』となりました。
誠にありがとうございました。